

今後の課題と取り組み

1. 総評を受けて

今回の地域公開保育では、園全体の明るく活気ある雰囲気や、意図的・計画的な保育活動、職員の丁寧な対応などに高い評価をいただきました。また、子どもたちが仲間とともに生き生きと生活し、集団の中で互いを意識しながら成長している姿が伝わったとのコメントも多くいただきました。これらは、職員一人ひとりの協働と、日々の保育の積み重ねの成果と受け止めています。

2. 評価を踏まえた今後の課題と取り組み

（１）教育・保育内容のさらなる質の向上

課題：意図的・計画的な保育の質が高く評価された一方で、今後も子どもの主体性をより引き出すための環境構成や活動の工夫が求められる。

取り組み：

- ・ 年齢・発達段階に応じた「自ら考え、選び、行動できる保育環境」の充実。
- ・ 保育カリキュラムのPDCAサイクル（計画→実践→振り返り→改善）の一層の定着。
- ・ 職員間の実践共有・公開保育の機会を継続し、園全体で保育の質を高めていく。

（２）環境構成の工夫と安全管理の強化

課題：環境への配慮や柔軟なスペース活用が高く評価されたが、継続的に安全・衛生面との両立が必要。

取り組み：

- ・ 季節・行事・活動内容に応じた環境構成の工夫を継続。
- ・ 防災・防犯・衛生管理の年間点検と職員研修を計画的に実施。
- ・ 子ども・保護者・地域を巻き込んだ「安全教育・防災訓練」の充実。

（３）地域との連携・協働の深化

課題：地域とのつながりが評価された一方、今後は相互の学び合いをより深める仕組みづくりが課題。

取り組み：

- ・ 地域の保育施設や小学校との合同研修・交流事業の推進。
- ・ 地域行事や子育て支援活動への積極的な参加。
- ・ 保護者・地域住民を対象とした園の活動発信（通信・SNS・公開保育など）の継続。

（４）職員の専門性とチーム力の向上

課題：職員の対応が高く評価されたが、今後も一人ひとりが主体的に学び、協働できる体制の維持・発展が重要。

取り組み：

- ・ 若手からベテランまでが意見を出し合える「学び合いの職員文化」を育む。
- ・ 研修参加の推進と、園内での実践共有会の開催。
- ・ 「笑顔と協働」をキーワードにしたチームビルディングの継続。

3. まとめ

今回の高い評価を励みとし、今後も「子どもたちが主役となる保育」「地域に開かれた園づくり」を目指して、全職員で一層の努力を重ねてまいります。地域の皆さまとともに、子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう取り組んでまいります。